## 「次期(第4世代)協会システム構築に係る調査及び計画等作成支援業務」調達仕様書に対する意見及び回答

	調達仕様						
No	書·委託 要領等	ページ	章	項番	記載内容	当該記載内容に対する意見又は質問	回答
1	仕様書	5	3	(3)	成図、ハードウェアー覧及びソフトウェアー覧は契 約後に確認できるものとする。	本検討にあたってはシステム構成図やハードウェアー覧及び ソフトウェアー覧等の現行システム状況の詳細を把握している 方がより貴協会のもとめる提案ができるものと思慮しておりま す。つきましては、入札公告時に現行システム環境における データベース構成やデータ量、システムセキュリティ等のシス テム基本情報をお示しいただくことは可能でしょうか。 また、受託後においては貴協会の保有するシステム関連の詳 細情報に関する資料等(例:設計書)は、受託者からの要望に より開示可能と言う認識でよろしいでしょうか。 〈理由〉 業務の精度向上及び適正な見積を実施するために必要な情 報であるため	
2	仕様書	6	5	(2)	現在、保健部門および総務部門に関する業務及びシステムのあり方を検討している。保健部門においては令和7年10月から令和8年9月にかけて要件が固まる予定である。総務部門は令和7年12月頃から業務要件の検討が始まり令和8年末には要件が固まる予定である。また、けんぽアプリ(仮称)は令和8年1月にサービスインを予定して	<買問>「けんぽアプリ(仮称)は令和8年1月にサービスインを予定しており、令和10年と令和12年のバージョンアップに向け令和7年末頃に機能要件が固まる予定である。」と記載されており、けんぽアプリ(仮称)における令和10年のバージョンアップも一定考慮しなければならないと理解していますが、令和10年時点における影響分析やけんぽアプリ(仮称)Ver1調達支援等事業者をはじめとする関係事業者間調整については、本業務の受託	ません。 ただし、健康保険システムとの情報連携方法等は次期協会システム検討の際に考慮すべき要素となるため、情報の把握は必要になる見込みです。
3	仕様書	6	5	(2)		並行するプロジェクトの成果物や検討資料は随時、共有いただける認識でよいでしょうか。	ご認識の通りです。

4	仕様書	6	5		想案や構築方法等を検討し提案すること。また、 これらのプロジェクト(支援事業者を含む)と連携を	本業務は平行するプロジェクトの業務要件、システム要件を把握する必要があるものと理解していますが、次期システムにおける調査結果や構想等と整合性が取れない場合、事業者横断での要件調整や会議体運営も本業務が主となり、各種調整・	ご認識の通りです。
5	仕様書	7	6		領域等のイベントや将来に向けた動き・将来像の	<理由>	ご認識の通りです。
6	仕様書	7	6		ステムセキュリティ状態、システムコストなどの詳	左記のとおり、コストの適正を検討するにあたり、現行システムに係る詳細な費用(特にハードウェア、ミドルウェア等の基盤関連の費用)は詳細に開示されると言う認識でよろしいでしょうか。  〈理由〉 業務の精度を向上させるため	
7	仕様書	7	6		ステムセキュリティ状態、システムコストなどの詳細な現状調査、分析及び業務戦略性、技術生産性、コスト適正など、様々な観点からの現行システ	詳細なデータベース構成やデータ量、システムセキュリティ状態等の詳細については現行システムベンダから必要な情報や資料を提供いただく必要がありますが、貴会の依頼に基づき現行システムベンダからご提供いただける前提と理解してよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
8	仕様書	7	6		ムに係る調査分析報告書』として協会に報告する	「現行の協会システムに係る調査分析報告書」と同一のものでしょうか。 同一であれば表記の統一を願います。	期協会システム構想案を経て、刷新計画書に必要な要
9	仕様書	9	6	(3)	②セキュリティ要件・非機能要件評価書	「②セキュリティ要件・非機能要件評価書」は、調査分析業務、 次期協会システム構想案作成業務、刷新計画書等作成業務 のうち、どの業務の成果物にあたりますでしょうか。 〈理由〉 仕様明確化のため	成果物を提出いただくのは刷新計画書等作成業務になりますが、必要となる情報は調査分析、次期協会システム構想案作成業務から収集していただくことを想定しています。

10	仕様書	9	7		た、今後の環境変化や外部要因等との関係性などを確認しつつ、次期協会システムリリース時の	「次期協会システムリリース時の業務のあり方の整理をする」という記載から、現行の業務に係る棚卸(業務一覧・業務フローの整理)に加え、新たな業務フロー・プロセス等の作成も本業務の作業に含まれますでしょうか。	個別の領域についての棚卸(業務一覧・業務フローの整理)や新たな業務フロー・プロセス等の作成は本業務に含まれません。 システム構成等の変更により、業務のあり方が変更される点等を中心に働き方や外部機関との連絡方法などを整理していただくことを想定しています。
11	委託要領	6	4	(7)⑤		本調達へより良い提案を行うために、複数のパートナー様との協調が必要となると考えております。「再々委託以降については、原則、認めない。」文言の削除をお願いいたします。結果として参入障壁を下げ競争性を高めることにも寄与すると考えます。	ん。 また、再々委託については、原則、認めませんが、役務
12	委託要 領	10	6		T)、システムアーキテクト(SA)のいずれかの資格を有し、実務経験のある者を参画させること。	情報処理技術者試験のITストラテジスト(ST)またはシステムアーキテクト(SA)の有資格者については、有識者や後方支援ではなく、中心となる業務遂行体制に参画させる必要があるという理解でよいでしょうか。	ご認識の通りです。
	評価 手順書	1	1	(2)	約15分程度のプレゼンテーションを行うこと。	役務範囲が多岐にわたるため、15分のプレゼンテーション時間ではしっかりご説明ができない可能性がございます。20分、可能であれば30分程度のプレゼンテーション時間をいただけないでしょうか。	